

## 淡路島地域公共交通計画の策定に関するパブリックコメント実施結果

1. 実施期間:令和6年1月9日(火)~令和6年2月8日(木)
2. 周知方法:淡路島3市公式ホームページ、淡路島3市広報紙、窓口配架、記者クラブ
3. 意見提出件数:27件(6人)

No	頁	行	該当箇所	ご意見の概要 (※一部字句や表現の修正を行っております)	ご意見に対する考え方
1	6	1	買物に関する住民の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 60歳以上の淡路島在住者の買い物の動きに絞って分析しているが、公共交通の現状が分かるように「淡路島全体の動き」や「公共交通利用の動き」も入れてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回実施したアンケート調査は特に公共交通による移動サービスが重要となる高齢者の移動を詳細に把握することを主眼に実施しました。調査では、高齢者の主たる日常の移動である「買物」「通院」目的の動きの実態把握につとめ、他の年齢層等の移動実態は前回調査結果をもとに検討することとしたため、淡路島全体の動き等を追加することができません。</li> </ul>
2	14	1	(2) 高速バスの状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昼行高速バスではこの通りであるが、この他に四国高速バス運行の名古屋発着夜行便で高速淡路志知停車がある。</li> <li>・ 4事業者共同運行の内、大磯号と北淡路西海岸ラインは共同運行の対象外であるため、対象外の2路線も共通乗車が出るように働きかけを進めていく必要がある。</li> <li>・ 阿波エクスプレス京都号について、淡路島内に停車する便は2往復だけである。全便淡路島内に停車するように働きかけを進める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高速バスの島内における利用環境の向上に向けて、行政、バス事業者等で連携して取組を進めてまいります。いただいたご意見は今後の検討の参考にさせていただきます。</li> <li>・ なお、当該ページの表については、淡路島観光協会の「あわじ足ナビ」に掲載されている路線のみ整理をしています。</li> </ul>
3	14	1	(2) 高速バスの状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高速バスのオープンドア化は、高速バスの区間利用を促し、バス事業者にとってもメリットのある方式であるため、淡路島の高速バス全区間で実現してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「施策2-1-2 高速バスの地域内乗降の拡大」に示す通り、高速バスの速達性にも配慮しつつ、必要な路線については高速バスの地域内乗降の拡大を進めます。いただいたご意見は今後の検討の参考にさせていただきます。</li> </ul>

No	頁	行	該当箇所	ご意見の概要 (※一部字句や表現の修正を行っております)	ご意見に対する考え方
4	16	1	(3)路線バス・コミュニティバスの状況	・過去のバス路線の廃止により発生した公共交通空白地において、コミュニティバス導入の要望も出ていると聞く。公共交通空白地に早急な手立てが必要ではないか。	・「施策 3-1-1 公共交通空白地における地域内交通の導入」に示す通り、地域内交通の導入を進めます。いただいたご意見は今後の検討の参考にさせていただきます。
5	18	6	②高校生の利用状況	・高校生の通学の際、家族による送迎が 55.7%なのは、バスのダイヤに問題があるからではないか。たとえば、淡路三原高校の広田・洲本方面は 19 時 12 分が最終で部活が延びるとバスで帰れない。父母の共働きが増え、その分祖父母などによる送迎が増えている。高齢者の免許返納も増えており、送迎がしづらくなる前に、ダイヤの見直し等を検討すべきである。	・高校生が利用しやすい地域公共交通ネットワークの形成に向けて現在も高校の始業時間、終業時間等に考慮してダイヤを設定しておりますが、今後も行政、バス事業者等で連携して取組を進めてまいります。いただいたご意見は今後の検討の参考にさせていただきます。
6	26	4	4.地域公共交通の課題	・「子どもや高校生、自動車運転免許を返納した方などターゲットを絞った取組」 ⇒高速バス等を使って通勤している人(島内⇒島外、島外⇒島内)も多い。ビジネス客もターゲットに入れてはどうか。	・「施策 5-2-1 地域公共交通の利用機会の創出」において「通勤における利用の働きかけ」を位置づけており、ご意見を踏まえ、課題の部分にも「就業者」を追加します。
7	26	6	4.地域公共交通の課題	・「デジタル技術などあらたな技術も活用しながら」 ⇒「自動運転」へも言及してはどうか。	・ご意見を踏まえ、「デジタル技術などあらたな技術も活用しながら」を「AI や自動運転技術など、新たなテクノロジーも活用しながら」と修正します。
8	28	8	②来訪者の移動手段と利用環境	・大阪、JR 新神戸駅、三宮、学園都市及び高速舞子からの拠点が掲載されている一方、徳島、高松からの拠点が一切掲載されていない。淡路島四国間の公共交通は淡路島本州間及び淡路島内間に比べて手薄のため、何とかならないか。	・地域公共交通ネットワークの将来像図で示す通り、島内と島外で結ぶ高速バスネットワークは神戸、大阪方面だけでなく、四国方面も重要であると考えています。ご意見を踏まえ、当該部分に、四国方面との連携についても記載する形で修正いたします。
9	28	-	(2)めざすべき将来像	・「来訪者の移動手段と利用環境」もしくは「総合的な移動環境」に下記を追加してはどうか。 ・海外からの観光客の受け入れ環境(多言語の案内等)が整い、空飛ぶクルマなど先進モビリティの拠点も出ています	・ご意見を踏まえ、「来訪者の移動手段と利用環境」に一部表現を修正した上で追記します。
10	30	29	淡路島南パーキングエリア	・高速バス停があるのはパーキングエリアではなく、インターチェンジです。それともインターチェンジにあるバス停をパーキングエリア内に移設するのか。	・淡路島南パーキングエリアを地域拠点と位置づけ、高速バスの停留所設置も含め他の移動手段との交通結節機能の向上をめざします。

No	頁	行	該当箇所	ご意見の概要 (※一部字句や表現の修正を行っております)	ご意見に対する考え方
11	32	1	目標③	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標③の目標値が現状と同じ12%は目標として低すぎないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標値の平成30年以降の過去5年間の推移を見ると、12%を超えているのは令和2年のみであることから、今後5年間は現在の水準を維持することが重要であると考え、12%と設定しています。</li> </ul>
12	32	1	目標③	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化が進む中で福祉施策としても公共交通が必要という表現が必要ではないか。</li> <li>「…地域公共交通を中心に…」の中心にとはどのような意味か。通院の場合、ドア to ドアの場面が必要な場合がある。タクシー代の補助などが必要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標③は「島内の住民や島外の通勤、通学している方などが、安心して快適に生活できるよう、地域公共交通を中心に日常の移動手段の充実を図ります。」と記載しており、福祉施策が必要な方も含め「住民」として移動手段の充実を図ることとしています。「…地域公共交通を中心に…」の表現については、30ページの「ネットワークの役割」に示す通り、福祉交通は「公共交通で対応できない方の輸送手段」と位置付けており、そのことを指しています。</li> <li>なお、施策としては「施策 3-2-2 福祉サービスとの連携」に示す通り、地域公共交通サービスと福祉サービスのサービスの狭間となっている層への支援等を進めてまいります。タクシー代等運賃補助についてのご意見は今後の検討の参考にさせていただきます。</li> </ul>
13	33	1	(2)地域公共交通ネットワークの確保・維持の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>淡路市が運行する南部観光周遊回りが表から抜けているが、当路線は支線となるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご意見の通り、南部観光周遊回りの記載が抜けていましたので、支線に追加させていただきます。</li> </ul>
14	33	-	高速バスについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>阪神間の病院への通院のバス代の負担が重い。維持・確保の方針について「…整理を行います」とはどのようなことを示しているのか具体的に示してほしい。</li> <li>南あわじ市は空港バスを運行しているが徳島方面の通院手段にも言及すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「…整理を行います」とは、具体的には33ページの表「各運行系統の位置づけと確保維持の方針」のことを示しています。ご意見を踏まえ、表現を修正いたします。</li> <li>高速バスの利便性向上に向けて、行政、バス事業者等で連携して取組を進めてまいります。いただいたご意見は今後の検討の参考にさせていただきます。</li> </ul>

No	頁	行	該当箇所	ご意見の概要 (※一部字句や表現の修正を行っております)	ご意見に対する考え方
15	38	14	運行サービスの見直しを想定している路線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミュニティバスの上灘・沼島線について、由良線と重複している区間を廃止して由良福祉センターから沼島汽船前間のみの運行にしようか。</li> <li>・ 淡路コミュニティバス、市内内陸部に路線新設が必要ではないか。また、東浦北淡線に関しては循環路線に出来ないか。</li> <li>・ 本四海峡バス鮎原線に関しては南あわじ市役所前発着へ延伸出来ないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用しやすい地域公共交通ネットワークの形成に向けて、行政、バス事業者等で連携して取組を進めてまいります。いただいたご意見は今後の検討の参考にさせていただきます。</li> </ul>
16	38	29	高速バスの地域内乗降の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 路線バスを補う観点から、三宮～高田屋嘉兵衛公園間の高速バスを、陸の港西淡まで延伸する計画になっているのか。その場合には、途中に鳥飼・慶野松原・西淡シーパ前のバス停を設置し、地域内昇降の導入をすべての便でなくてもいいのですすめていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご意見の通り、島内移動時間の短縮や路線バスを補う観点から高速バスの地域内乗降の拡大を進めることとしています。いただいたご意見は今後の検討の参考にさせていただきます。</li> </ul>
17	39	2	地域内乗降の導入を想定している路線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三ノ宮－西浦線(高田屋嘉兵衛公園～陸の港西淡・福良)この間を運行する高速バスが無いので訂正が必要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当該区間については、現状で高速バスは運行されていませんが、地域内乗降が可能な路線の導入について検討を進めます。</li> </ul>
18	39	2	地域内乗降の導入を想定している路線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「舞子福良線(オープンドア路線)の増便」も入れてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 舞子福良線(オープンドア路線)については、速達性とのバランスから、年々運行本数が減少しているのが実情であり、増便は難しいと考えています。</li> </ul>
19	39	15	市域を超えた路線の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県立淡路医療センター内にバス停を設置し、利用者の利便性を確保する。バスセンターから医療センターまで歩くとすると、歩道を渡って入り口までかなりの距離がある。バスが直接医療センター内に乗り入れ、入り口近くで乗降できるようにすれば、利用者の利便性も高まる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 淡路市コミュニティバスの県立淡路医療センターへの乗り入れについては、岩屋ポートターミナルから洲本バスセンターまで間の運行で検討しており、道路や敷地上の制約から県立淡路医療センター内へのバスの乗り入れは予定していません。いただいたご意見は今後の検討の参考にさせていただきます。</li> </ul>
20	40	1	乗り継ぎ等利用しやすい手段の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鮎原線は、昨年 JA 五色支店まで延長されたが、地域拠点での乗り継ぎを考えると、陸の港西淡までの延長が必要に思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鮎原線については、JA 五色支店までの延伸、鳥飼線との接続性向上により、利便性向上を進めてきました。今後も乗り継ぎの改善等、利用しやすい手段の導入を進めてまいります。いただいたご意見は今後の検討の参考にさせていただきます。</li> </ul>

No	頁	行	該当箇所	ご意見の概要 (※一部字句や表現の修正を行っております)	ご意見に対する考え方
21	40	1	施策 2-2-2 乗り継ぎ等利用しやすい手段の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線バスから路線バス、路線バスからコミュニティバスなど、乗り継ぎをする場合、運賃の割高感がある。事業者の壁を超えて通しの乗り継ぎ運賃にする、1日乗り放題運賃を導入する、コミュニティバスなら一般運賃で途中下車を認める、などすれば、割高感も解消され、利便性も向上するのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご意見の通り、乗り継いでも総額の運賃が高くない乗り継ぎ手段の導入を進めることとしています。いただいたご意見は今後の検討の参考にさせていただきます。</li> </ul>
22	41	10	拠点における交通結節機能の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>淡路島中央スマートインターチェンジですが、1時間に1本以上は三宮発着の高速バスを停車させるのと高速バス駐車場付近に都志線とコミバス五色地域線のバス停留所を新設。</li> <li>津名一宮 IC のバス停留所を改造。現状津名港経由の高速バスが停車できないのと、鮎原線・コミバスの停留所が高速バス停留所と別の場所にあることから、改造して高速バス停留所と同じ1つの停留所に集約、津名港経由の高速バスも停車にできないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>淡路島中央スマートインターチェンジバス停については、停車便数、交通結節機能の向上に向けて、行政、バス事業者等で連携して検討してまいります。</li> <li>津名一宮 IC バス停については、インターチェンジの構造上、路線バス・コミュニティバスと高速バスの停留所を集約することが難しい状況にあります。いただいたご意見は今後の検討の参考にさせていただきます。</li> </ul>
23	44	5	空白地における地域内交通の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>千草地区での実証実験が終了し、どのような形態でエリア内の移動手段を確保すればいいのか次の計画ができているのか。タクシー業者と連携し、事前予約で、場所と時間指定ができ、運行できるようにすすめていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>洲本市千草地区については、実証実験を踏まえ、空白地解消に向けた取り組みを検討しています。いただいたご意見は今後の検討の参考にさせていただきます。</li> </ul>
24	47	1	バスナンバリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>三宮の新高速バスターミナル開業までに実施しないと意味がないのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度の実施に向けて引き続き関係者と調整を進めてまいります。</li> </ul>
25	47	-		<ul style="list-style-type: none"> <li>「MaaS の推進」についてタイトルはあるが内容の記述がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>淡路島における MaaS は、総合的な公共交通情報の発信や乗り継ぎ切符の導入など、シームレスな移動サービスにつながる様々な取り組みを総合的に進めることにより推進されるものと考えており、当該項目に記載している各施策が MaaS に関する取組であると考えています。</li> </ul>
26	48	1	キャッシュレス	<ul style="list-style-type: none"> <li>高速バス実施済みとありますが、障がい者割引は処理に時間がかかりすぎますので改善してほしい。高齢者も含めた利用しやすいキャッシュレスにしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者も障がい者も利用しやすい環境の形成に向けて関係者と調整を進めてまいります。いただいたご意見は検討の参考にさせていただきます。</li> </ul>

No	頁	行	該当箇所	ご意見の概要 (※一部字句や表現の修正を行っております)	ご意見に対する考え方
27	50	28	環境負荷の小さい車両の導入	・ 淡路交通路線バスは、昼間の時間帯などは乗車人数が少ないにもかかわらず大型のバスが走行している。コミバス程度のマイクロバスの運行で十分ではないか。	・ 路線バスの車両は他路線や他時間での活用なども鑑み総合的に選択をしています。いただいたご意見は今後の検討の参考にさせていただきます。